

「見通す・振り返る」学習活動 ～何を学び、何を学んだのかを明確に～

全教科での取り組み							
●問題解決の学習展開のなかに、「見通す学習活動」「振り返る学習活動」を明確に位置付け、学力の向上を促し、児童が主体的に学習に取り組めるようにしています。							
国語	書写	社会・地図	算数	理科	生活	家庭	保健
<ul style="list-style-type: none"> ●一年間の学習を見通すことができるよう、2年生以上の各学年冒頭に学習のロードマップのページを設け、領域ごとに、年間の「言葉の力」のつながりが分かるようにしました。 →2-4上・5・6年各p.8-9 ●◆単元を課題解決的な学習過程にそって構造化し、学習の見通しを立てたり振り返ったりする手立てを豊かに提示しました。 ●単元冒頭に「単元名」(言語活動)と「ねらい」(つけない力／◆印の文)を併記し、どのような活動を通じてどのような力を身に付けるのかを見通せるようにしました。 →3下 p.44, 49 等 ●「読むこと」領域のてびき冒頭では、ねらいに則した活動のめあてとなる「学習課題」(黄色枠の文)を位置付けました。 →3下 p.56, 75 等 ◆単元の学習を振り返る観点をチェックマークで示しました。 →3下 p.48, 58 等 ◆巻末付録に、学習で身に付けた「言葉の力」を領域ごとに振り返る「言葉の力のまとめ」を設けました(1上除く)。 →3上 p.152-157, 3下 p.172-177 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●高学年では「学習の進め方」のページを設け、全体を見通して学習を進められるようにしました。 →5年 p.6 等 ◆教材の最後や学年の最後に、学習を振り返る手引きなどを設け、学習したことを確認したり、自己評価したりできるようにしました。 ◆低学年では、巻末にあるシールを貼って、楽しく学習したことを振り返ることができるようにしました。また、当該学年で学習したことを迷路で楽しく確認できるページ(「1年で学んだこと」)を設けました。 →1年 p.39 等 ◆中・高学年では、当該学年までに学習したことを、巻末の付録(「1～4年で学習すること」)に一覧で示しました。 →4年 p.40-42 等 ◆毛筆教材では、毛筆教材の左端にあるインデックスに既習事項の参照ページを掲載することで、書写の基礎・基本を繰り返して学習し、確実に身に付けられるようにしました。 →4年 p.9 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が問題意識を高め、見通しをもって調べ学習に取り組むことができるよう、「学習計画を立てる場面」を重視しました。 ●5年上「米づくりのさかんな地域」では、学習問題をつけた後に、既得知識を生かしながら学習問題について予想し、「調べること」「調べかた」「まとめ方」からなる「学習計画を立てる」場面を提示しました。 →5上 p.76-77 ◆まとめる場面では、「学習問題」を再提示し、これまでの学習で分かったことを整理する活動とともに、調べたことから社会の出来事や事柄の意味や働きを考察する活動を位置付けました。 ◆5年下巻「環境を守るわたしたち」では、それぞれの立場で話し合った上で、考えたことをノートにまとめるようにしました。 →5下 p.122-123 ◆6年上巻「天皇中心の国づくり」では、新聞づくりをする際、見開きごとに整理したものをはった上で、学習を通して考えたことを社説に書くようにしました。 →6上 p.38 	<ul style="list-style-type: none"> ●単元の導入では、単元全体の学習に見通しがもてるように、単元全体の課題を示しました。 →3上 p.69, 4上 p.31, 6年 p.23 等 ●各時の授業においても、見通しをもつことを重視し、本時の課題を示しました。 →2下 p.43, 3上 p.58, 5上 p.15 等 ◆日々の授業において、本時の課題に対応するまとめや練習問題で学習をていねいに振り返ることができるようにしました。 →2下 p.45, 3上 p.59, 5上 p.16 等 ◆3年以上の単元末「しあげ」に側注を設け、各問題にめあてや振り返るための取り扱い箇所を示しました。 →3上 p.21, 4上 p.17-18, 5上 p.12, 6年 p.20 等 ◆2年以上の巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、児童が自力で既習を確認できるようにしました。 →2下 p.107, 3上 p.130-131, 4上 p.146-147, 5上 p.142-143, 6年 p.250-253 等 ◆2年以上の巻末最終ページに「さく引」を設け、当該の学年の学習を振り返ることができるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題解決の「予想しよう」「計画しよう」では、事象を観察して、見通しや仮説をもったり、既習事項を生かして観察、実験の方法を考えたりすることができるようにしました。 ●6年「植物のからだのはたらき」では、これまでの経験をもとに、実験を計画したり、結果を予想したりする場面を積極的に取り上げ、見通しをもって実験が行えるようにしました。 →6年 p.48-59 ◆問題解決の「考えよう」などの考察の場面では、観察・実験の結果や予想を振り返る活動として、結果を表した表やグラフから傾向を読み取って考察したり、話し合い活動を行ったりすることができるようにしました。 ◆5年「物のとけ方」では、グループごとの結果を1つの表にまとめ、話し合い活動を通して考察するようにしました。 →5年 p.102, 104 ◆4年「天気と気温」の1日の気温を調べる場面では、結果がみんなと異なった場合に、実験を振り返って原因を考える場面(「こんなときには…」)を設けました。 →4年 p.32 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の流れとねらいがとらえやすい紙面構成とし、児童が意欲と見通しをもち、主体的に学習活動に取り組めるようにしました。 →教科書全体 ●これまでの学習を生かして、まち探検への見通しをもち、計画を立てる学習活動などを設けました。 →「まちたんけん」計画を立てよう 下 p.24-25 等 ◆活動や体験を振り返り、見付けたことや気付いたことなどを、多様な方法で表現する学習活動を充実しました。 ◆学校探検の振り返り →上 p.16-17 ◆花の栽培活動の振り返り →上 p.31 ◆野菜の栽培活動の振り返り →下 p.16-17 ◆まち探検の振り返り →下 p.28-29 ◆活動や体験を振り返り、児童一人一人の気付きを視覚化・共有化し、思考を促す学習活動例を掲載しました。 ◆板書 →上 p.75, 104, 下 p.24, 80 等 ◆付箋・ホワイトボード →下 p.112 ◆ICT 機器 →下 p.76 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●「学習のめあて」を各大題材のステップごとにこまめに設定し、これからどのような目的で何を学習するのかが分かり、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしました。 ◆「学習のめあて」に対応した「ふり返ろう」もこまめに設定、何を目的に学び、何を学んだのかを確認していくことができるようにしました。 ●◆第2大題材「おいしい楽しい調理の力」では、次のように、「学習のめあて」とそれに対応した「ふり返ろう」を設定しました。 「1 料理の作り方を考えよう」 学習のめあて「調理の手順や目的を知ろう」→ふり返ろう「調理の手順や目的が分かりましたか。」 「2 ゆでる調理をしよう」 学習のめあて「ゆでる調理の特徴を知って、ゆでてみよう」→ふり返ろう「材料にあったゆで方で、ゆでることができましたか。」 「3 工夫しておいしい料理にしよう」 学習のめあて「ゆでる調理の仕方を工夫したり応用したりして、おいしい食事作りに生かそう。」→ふり返ろう「おいしい食事を作るために、ゆでる調理の仕方を工夫したり応用したりできましたか。」 →p.12-17 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●単元の冒頭で「学習の課題」を明示することで、見通しをもった学習ができるようにしました。 ●主な学習活動は、「学習活動」のマークで統一するとともに、活動内容を言葉で明記することで、学習の流れと活動内容がひと目で分かるようにしました。 ●3・4年巻頭では、見開きのイラストで「身近な生活の中にある課題」を提示し、生活の中の課題について考えることで、保健学習について見通しがもてるようにしました。 →3・4年 口絵 1-2 ◆各章末に「学習をふり返ろう」を設けて、各時間で学んだ内容を自己チェックしながら、確認できるようにしました。 ◆「学習をふり返ろう」では、①で知識・理解の内容の確認、②で学習態度や学習したことを生活で実践する態度について考える内容としました。 →各章末

＜凡例＞
 ● 「見通す」学習活動の方針
 ● 「見通す」学習活動の具体例
 ◆ 「振り返る」学習活動の方針
 ◆ 「振り返る」学習活動の具体例
 → 具体的な巻・ページ